

平成25年  
9月定例会



津山市立久米保育所



津山市立  
院庄幼稚園



津山市立  
一宮幼稚園

# やまの市議会だより

—あなたと市議会を結ぶ—

69号

平成25年11月10日発行

発行/津山市議会 津山市山北520 (TEL.32-2140) (FAX.32-2160) 編集/広報調査特別委員会

津山市議会ホームページ  
津山市議会Eメール

<http://www.city.tsuyama.lg.jp/index.cfm/23,0,177,html>  
[gikai@city.tsuyama.okayama.jp](mailto:gikai@city.tsuyama.okayama.jp)

## 目次

- 2～4面 こんなことが決まりました、第2回議会報告会について
- 4～10面 こんな声をお届けしました
- 11～14面 常任委員会委員長報告
- 15面 委員長報告に対する討論、決算議案の質疑について
- 16面 9月定例会に提出された請願の審議結果、人事案件、表紙写真について、編集後記

## 9月定例会のPoint

9月定例会は9月2日から27日までの26日間を会期として行われました。

9月定例会では、補正予算や条例改正議案に対する審議のほかに、前年度の各会計決算議案が提案されます。通常の議会運営に加えて、このたびは平成24年度各会計決算議案が上程され、議案質疑を行った後、各常任委員会へ付託し9月定例会は閉会しました。決算議案は12月定例会の開会に合わせて閉会中に委員会審査を行うこととなります。

9日からの議案質疑・一般質問は23人の議員が質問を行いました。質問の初日から市長の「基本姿勢」

に関して、来年2月に行われる予定の市長選挙への出馬について質問があり、その他としては土地開発公社の解散、福祉施策、まちづくり、農業問題、教育行政のあり方など多岐にわたる質問が行われました。

また、市議会では本会議閉会日の翌日9月28日(土)に市内4カ所で「第2回議会報告会」を開催しました。参加者は少なかったものの、議会に対する積極的なご提言やご意見をいただくことができました。今後も議会報告会を開催予定としていますので、ぜひご参加をいただき市民の皆さまのご意見を津山市議会へお寄せください。

# 9月定例会では こんなことが決まりました

9月定例会では25件の議案等の審査を行い、これら全てを原案のとおり可決しました。なお、各議員の「議案等への賛否状況」については、下記の一覧のとおりです。

また、このたびの議会では、議員提案の意見書議案も審議・可決し、地方自治法の規定により、政府、関係省庁に対して、この意見書を提出しました。

## 「地方税財源の充実確保」について(抜粋)

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。

こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方財源の充実確保が不可欠である。

よって、国においては、歳出削減を図るとともに、地方財源の確保のために、次の事項を実現されるよう強く求める。

1. 地方交付税の増額による一般財源総額の確保について

(1) 地方単独事業を含めた社会保障関係費の増など地方の財政需要を、地方財政計画に的確に反映することにより、一般財源総額を確保すること。など5項目。

2. 地方税源の充実確保等について

(1) 地方が担う事務と責任に見合う税財源配分を基本とし、当面、国と地方の税源配分を「5:5」とすること。など7項目。

## 議案等への賛否状況一覧表

番号	議員名 議案名	議員名															審議結果													
		秋久憲司	安東伸昭	岡田康弘	岡安謙典	小椋多	木下健二	黒見節子	河本英敏	近藤吉一郎	末永弘之	田口慎一郎	竹内邦彦	津本憲一	津本辰己	中島完一	西野修平	野村昌平	原行則	久永良一	松本義隆	村田隆男	森岡和雄	森西順次	山田誠	吉田耕造	賛成	反対	議決結果	
議案第26号	平成25年度津山市一般会計補正予算(第2次)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	24	2	原案可決
議案第28号	平成25年度津山市土地開発公社清算事業特別会計補正予算(第1次)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	24	2	原案可決
議案第43号	権利の放棄について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	24	2	原案可決
議案第45号	工事請負契約について (仮称)津山市東部学校給食センター新築建築工事	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	22	4	原案可決
議案第46号	工事請負契約について (仮称)津山市東部学校給食センター新築電気設備工事	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	22	4	原案可決
議案第47号	工事請負契約について (仮称)津山市東部学校給食センター新築機械設備工事	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	22	4	原案可決

※ ○：賛成 ×：反対  
※ 賛否状況は議員の申告等に基づいて作成しております。  
※ 川端恵美子議員は議長のため、採決には加わりません。  
※ その他の議案等19件は原案可決、請願は全て継続審査となりました。

# 8月臨時会が行われました

8月23日(金)に8月臨時会が行われました。臨時会では、市長等の報酬及び市議員の給与の「引き下げ」に関する議案が提案され、質疑・討論の結果、賛成多数で可決しました。

議案第23号 津山市長等の給与の特例に関する条例

議案第24号 津山市職員の給与等の特例に関する条例

質疑は、新風会の松本義隆、津山誠心会の田口慎一郎、新政クラブの秋久憲司、山田誠の4人が行いました。

討論は、日本共産党津山市議団の久永良一、市民と歩む会の河本英敏の2人が行いました。

## 9月定例会の日程

- 9月2日(月) 開会、議案上程
- 9月9日(月)～13日(金) 議案質疑、一般質問、委員会付託
- 9月17日(火) 各常任委員会
- 9月19日(木) 各特別委員会
- 9月25日(水) 常任委員会委員長報告・採決、決算議案上程
- 9月27日(金) 決算議案質疑、決算議案委員会付託、閉会

## 第2回 議会報告会を開催しました

日 会	程 場	平成25年9月28日（土）午後2時～4時 加茂町公民館（加茂町塔中）、佐良山公民館（平福）、勝北公民館（新野東）、 イオンホール（イオン津山内・河辺）
参加市民数 内 容		43人 議会報告—9月議会の概要を報告しました。 意見交換—貴重なご意見として、今後の議会活動の参考にさせていただきます。



### 加茂町公民館

加茂町公民館では5名の参加者のもとで開催しました。9月定例会の議会報告を受け、参加者からは市の抱える財政状況や、久米山ふれあいロッジの今後の活用方法、（仮称）勝北マルシェの事業概要などについての質問やご意見をいただきました。また意見交換では、議会活性化調査特別委員会での議員報酬・定数等の検討に対する意見や、会派制度に対する感想、また地域の活性化に向けた新エネルギー施策についてなど、貴重なご意見、ご要望をお聞きすることができました。



### 佐良山公民館

佐良山公民館では、11名の出席者のもとで議会報告会を行いました。内、7名の方々から、質問・意見・要望を頂きました。  
津山市の大災害対応（被災者受け入れ体制）、開発公社解散問題、市場問題、国際音楽祭の取り組みについて、地域の課題としては、通学路について、高尾の雇用促進住宅跡地の活用について、大雨災害対応について等の質問があり、それぞれに回答を申し上げます。最後に出席者全員の方から、アンケートの提出をいただきました。



### 勝北公民館

勝北公民館会場は参加者16名でした。9月の議会報告には、土地開発公社の具体的な状況・今の彩々と（仮称）勝北マルシェの関係・津山駅周辺の整備・中央病院への進入路の整備進捗状況への質問が出されました。その後、53号線バイパスの現状・間伐等林業施策・観光客の状況と駐車場の課題・空き家対策・歴史の伝承・鳥獣対策・日本原高校の跡地・五輪原の風力発電等、活発な意見交換が行われました。



### イオンホール

イオンホールでは、11名の参加がありました。  
土地開発公社解散について多くの質問が出され、これまでの経過や解散プランについて説明しました。  
市街地の駐車場不足に対する対策や均等な地域発展の政策を望む声が出され、津山市の特性にあった教育施策や若者の雇用確保について意見交換ができました。  
また議会報告会のあり方について、定例会ごとに開催してはどうか、集客方法や開催場所について再考するようご意見をいただきました。

# 観光立市宣言を決議しました

美作国建国1300年や城東地区の重要伝統的建造物群保存地区指定などを契機として、津山市の魅力为全国の皆さんに情報発信し、一人でも多くの方に津山へ訪れていただくため、津山市議会は「観光立市宣言」を決議しました。

## 「観光立市宣言」

我が郷土「津山」は、古くは美作国の国府が置かれ、山陽と山陰を結ぶ交通の要衝、出雲街道の城下町として産業・経済・文化が発展してきました。そして、「津山城跡」に代表される多くの歴史的文化遺産を有し、豊かな水と緑に象徴される美しい風景など、多彩な地域資源に恵まれた魅力あるまちです。

わたしたちは、先人の育ててきたこれらの歴史・文化・自然環境をしつかりと継承し、郷土に愛着と誇りを持つとともに、地域の「宝」を「再発見」し、その特性を最大限活かした活力ある地域社会を形成していきます。

そのため、地域に経済効果を生む総合的な産業である観光を推進し、津山の観光資源を全国に幅広く情報発信し、来訪者にやさしい環境を整え、交流人口の増加に取り組みます。「訪れたいまち津山」「住みたいまち津山」を目指して、ここに津山市を「観光立市」とすることを宣言します。

平成25年9月25日

津山市議会

## 他市町からの視察

- 5月16日(木) 大阪府柏原市 7人
- 公募提案型協働事業について
- 5月21日(火) 千葉県八街市 2人
- 公募提案型協働事業について
- 5月29日(水) 沖縄県宮古島市 8人
- 木材チップの活用について
- 7月11日(木) 愛媛県東温市 11人
- つやま新産業創出機構による産業振興策について
- 7月30日(火) 京都府長岡京市 9人
- つやま新産業創出機構による産業振興策について
- 8月2日(金) 滋賀県湖南市 9人
- つやま新産業創出機構による産業振興策について
- 8月7日(水) 兵庫県篠山市 4人
- 選挙における投票時間の繰り上げについて
- 8月19日(月) 徳島県上勝町 4人
- あば温泉「やすらぎの館」の運営状況について

# 市政に対する個人質問

### こんな声をお届けしました

9月定例会では、9日(月)から13日(金)までの5日間にわたって、

23人の議員が質問を行いました。掲載の

質疑は議員が作成し、議員の責任で掲載

しています。写真については、自席で再

質問中のところです。

議員名に★印が付いている議員は一問

一答方式を選択しました。



## 交付税減額後の行財政の運営は

緑風会 森西順次



考えは。

答弁↓人口減少、少子・高齢化が進む中、財政状況は非常に厳しくなる。また市町村合併後10年が経過する中で地方交付税の大幅な減額も控えている。今後30年間の長期財政見通しを立て、さらなる効率・効果的な行政運営を図っていきたい。一昨年の東日本大震災に伴う福島原発の問題から現在、国を挙げて再生可能エネルギーを活かしたまちづくりが求められている。再生可能エネルギーの活用は、今後の持続可能なまちをつくり上げていく中でも非常に大きなテーマであり、積極的に施策を取り入れていきたい。

質問↓国が地方交付税を減額したときの、

今後の行財政運営は。再生可能エネルギーや新エネルギーなどの取り組みによる持続可能な環境づくりについての

### 三セク債の調達借入先と方法は

新風会 岡田康弘



**質問** ↓ 三セク債の調達先と調達方法は。  
**答弁** ↓ 発行金額113億5000万円全額を9月5日に入札し、借入先は広島銀行50億円、津山信用金庫29億563

0万円、中国銀行10億円、JTAつやま8億9370万円、鳥取銀行7億円、トマト銀行5億円、山陰合同銀行3億円と、すべて市内の金融機関に決定した。5年ごとの利率見直し方式で借り入れる75億円は、5年ものの国債金利に上乘せまたは引き下げする金利を比較するスプレッド方式で入札し、落札平均スプレッドが0・069%。最終的には9月11日公表の国債金利により決定する。15年間の固定金利方式で借り入れる38億5000万円は、借入利率が平均1・062%。長期財政見通しで想定していた金利2%に比較して低利での借入を行うことができた。

### 生きる力と教育・人づくりの重要性

緑風会 竹内靖人



**質問** ↓ 市長の教育に対する考え方は。  
**市長** ↓ 教育は地域づくり、まちづくりの礎だと考えており、教育の充実には特に力を入れてきたと思っている。今後

だが可能な限り予算の配分を行い、教育力の向上に向け取り組むたい。  
**質問** ↓ 学力向上のみに走りすぎず、人づくりに取り組まなくてはならない。教える側、教えられる側、それぞれにどのような課題があるか。  
**教育長** ↓ 学校教育は、教員と児童・生徒との間に「教え・教えられ」の関係が必要。教員は、自信と情熱を持ち教育を行うべく自ら指導力や人間的な魅力を高める必要がある。子ども達には社会への関心や自ら学ぶ意欲が必要。家族や地域の人々も社会のルールを身をもって教え、子ども達の良さを認め勇気づけることが大切。

### また付け回された113億円30年ローン

★市民と歩む会 河本英敏



**質問** ↓ 津山市内各地域に語り継がれている昔話などをまとめたものはあるのか。ないとすればまとめる考えはあるのか。

**答弁** ↓ 昔話・民話などを含め、今年度発足した「津山市史編纂委員会」の民俗部会の中でまとめた。  
**質問** ↓ 土地開発公社の解散に伴う113億円の30年分割払いの責任は、時の市長、議会に問題があったと考えるのが普通。しかし、さかのぼってという事にもならない。現市長、議会は、機関責任を自覚すべきと考えるがどうか。  
**答弁** ↓ 当時の関係者の道義的責任は重いと考える。しかし、民主制の過程の中で問題の抜本的な解決を図るべきであると認識している。

### 災害に対する安全安心のまちづくりはどうか

緑風会 木下健二



**質問** ↓ 8月5日の局地的豪雨により津山市中心街に大きな被害が生じた。安全・安心のまちづくりを進めている中、市長の考えは。また、ハザードマップ

の見直しはどうか。  
**市長** ↓ 近年、地球温暖化などによる異常気象により全国各地で想定外とされる災害が発生しており、津山市においても油断できない状況にある。自治体は市民の生命身体財産を守る責務があるが、完全なる防災の術はないと痛感している。今後ともあらゆる災害に対し、市民、地域や関係機関と連携し、被害を最小限に抑える防災・減災に向けての取り組みを精一杯行っていきたい。  
**総務部長** ↓ 新しい防災ハザードマップは今年3月、市内の危険箇所調査結果を新たに加え、作成した。

全国学力・学習状況調査について

津山新星会議 小椋 多



質問 ↓ ①津山市の学力の状況は。②津山市の目指す学力の目標値と達成時期は。③模擬天守閣の波及効果は。

均を下回っている。しかし昨年との比較では改善傾向が見られる。現在調査結果の詳細な検討を進めており、各学校が作成した改善プランと調査結果の公表をすることにより説明責任を果たす。②全ての教科で県の平均正答率(県の目標は全国10位以内)を上回ることを目標としている。目標達成年度は3年後の平成28年度としている。③模擬天守設置期間を含めた8月の鶴山公園入場者は昨年同期の2倍を超えた。経済的にも一定の効果があつたものと思われる。市内金融機関でも天守復元に向けた取り組みが始まり、天守復元の機運醸成につながつたのではないかと。

地球温暖化が教室にも。市教委は情報収集と支援の努力を

★市民と歩む会 黒見節子



質問 ↓ 温暖化で、この70年で津山市の平均気温は3・4℃上昇。学校の教室環境の整備は。

会で教室の扇風機設置はほぼ終えた。温暖化が子どもたちに及ぼす影響を情報収集し、必要な支援を考えていく努力を継続したい。

質問 ↓ 津山市女性職員の状況は。

回答 ↓ 正職員868名中、女性は114名。課長補佐級以上の女性の管理職は管理職全体の18・6%である。

質問 ↓ 配偶者から暴力を受けた被害者の相談支援部署、申請時の手続き、相談体制は。

回答 ↓ 男女共同参画センターと子ども課で情報共有し連携して対応。申請に職員が同行支援。相談員の確保は関係部署と協議していく。

総合食品卸売市場の破産申し立ての責任について

★津山誠心会議 中島完一



質問 ↓ 市場の破産申し立ては、市長自らの政治的な判断においてされたことで、税債権の回収が達成できず、市場機能が継続できなかつた場合には、市長自

らが責任を取られるのか。回答 ↓ 私の思いで決断したことであるから、当然私自身に責任が課せられるというのはごく当然だと思う。質問 ↓ 私のいう責任とは食品卸売市場を「公設民営」という形を取つても、政治的に復活すべきということだが。回答 ↓ 市場を監督している岡山県が今までの何をしておつたのかと、そしてまたその中におられる方もどういう形でおつたのかなというの、多少思わなくてもないが、私自身に責任が求められるということについては、十分に理解し、私なりに考えていきたい。

マイナンバー制度による行政改革を

公明党津山市議団 原 行則



質問 ↓ 先の国会で「マイナンバー法」が成立し、政府は平成28年からの運用に向けて取り組んでいるが、津山市としてこの準備、財政負担、運用の状況は

どうなっているのか。

回答 ↓ 国は平成27年度中の国民に対する12桁の番号通知を目指しているところである。本市では、行財政改革推進室及び今後業務の中心である情報政策課税制課、総務課、市民課等と連携を図りながら情報収集に努めている。負担については交付税措置があるものと考えている。運用が始まればよりきめ細かなサービスの実施が可能となるものと考えている。

質問 ↓ 鳥獣被害対策のための「実施隊」設置について進捗状況は。

回答 ↓ 規則の整備、駆除班や猟友会等との協議のち来年度早々には設置したい。

発言通告一覧表

日	番	氏名	件名
1	1	森西 順次	1. 市長の政治姿勢について
1	2	岡田 康弘	1. 土地開発公社について
1	3	竹内 靖人	1. 防災・減災体制の充実について 2. 学校教育について 3. 公民館の耐震化の推進について
1	4	河本 英敏	1. 津山に残る民話を守り語り継ぐために 2. 学校給食について 3. 土地開発公社解散にともなう第三セクター債への借り換えと基金条例の運用について
1	5	木下 健二	1. 安全・安心のまちづくりについて 2. 教育と青少年問題について
2	1	小椋 多	1. 教育行政について 2. 産業施策について
2	2	黒見 節子	1. 学校の学習環境について 2. 「第3次つやま男女共同参画さんさんプラン」 3. 「市町村の配偶者暴力相談支援センターの設置促進のための手引」について
2	3	中島 完一	1. 一宮保育所の移転について 2. 都市計画道路について 3. 津山総合食品卸売市場について
2	4	原 行則	1. 行政サービス 2. 農業関連
2	5	久永 良一	1. 地域経済の再生について 2. 教育問題について 3. 入札制度について
3	1	山田 誠	1. 職員給与削減と議員報酬について 2. 農業振興策について 3. 久米山ロッジ廃止について
3	2	秋久 憲司	1. 行財政改革について 2. 美作国建国1300年祭について
3	3	岡安 謙典	1. 防災対策について 2. 健康対策について 3. 教育行政について
3	4	田口慎一郎	1. ゲリラ豪雨等災害対策 2. 低炭素都市をめざす津山市
4	1	村田 隆男	1. 議案第41号、合併特例 2. 市の公用車
4	2	野村 昌平	1. 教育行政について
4	3	竹内 邦彦	1. 市町村合併の功罪
4	4	安東 伸昭	1. 消費税に関する対応 2. 公の施設の目的外使用について 3. 指定管理物件の更新について
5	1	松本 義隆	1. 役所内のいじめについて 2. 合併について 3. 入札について
5	2	津本 憲一	1. ノーマライゼーションについて 2. 今後の企業誘致について 3. 津山市条例について
5	3	近藤吉一郎	1. まちづくりについて 2. 新エネルギーについて 3. スポーツ振興について
5	4	森岡 和雄	1. し尿処理について 2. 新エネ推進室の取り組みについて
5	5	末永 弘之	1. 市民のくらしと社会保障制度 2. 土地開発公社について 3. 市長の基本姿勢と暴力団対策

進む「都市の木造化」

★日本共産党津山市議員 久永 良一



**質問** ↓ A社が設計施工した木造の建物(住宅、市庁舎)は大震災で倒壊しなかった。「木造の建物は地震、火災に

弱い」という「常識」を覆した。同社は木造の4階建のショッピングセンター(横浜市)、1300人収容の文化センター、学校(真庭市)、保育園、幼稚園(美作市)、特別養護老人ホーム、駅舎、集合住宅などを施工。津山でA社と「技術提携」して地域材を使用し大型木造建物を建築できれば森林・林業の再生、地域経済の振興へ大きな効果が期待できる。津山で構造材の調達

・加工、設計、施工の可能性などについて市が材木関係者、設計事務所、工務店など共に研究を行っては。

**答弁** ↓ 調査・研究を行う。

議会費及び議員報酬が全国類似自治体より高い

★山田 誠



**質問** ↓ 職員給与の削減は3度も可決した。議員報酬は類似自治体より月額約3万円高い。議会費全体においても類似自治体より約1億円多い。財政非常事態

の中、議会に対し報酬削減要請はしないのか。また特別職報酬審議会設置条例によると設置権限は市長にしかない。審議会を設置し報酬削減をする気はないか。

**答弁** ↓ 議会費については各自自治体の実情がある。議員報酬を含めた議会のあり方については、議会の中で様々な課題を整理されているので、議会での最終的な方向が示された後に判断する。

**質問** ↓ 市長報酬3割カットは次期選挙公約に入れないのか。  
**答弁** ↓ 実施結果、かなり厳しいので選挙公約に入れることは熟慮したい。

### 23億5000万円の減！交付税の確保に全力を！

緑風会 秋久憲司



過ぎて、平成27年度から交付税が削減されるが、市への影響は。

**答弁**↓平成27年度から5年間で23億5000万円が削減される。毎年度、1、3、5、7、9割と削減され、最終的な削減額は一般財源の1割に相当し影響が大である。

**質問**↓交付税の確保の働きかけは。

**答弁**↓全国市長会で国や国会議員に働きかけている。私も総務省に行くなど機会ごとに強く要望している。

**質問**↓自然農法などに取り組み農家の実践交流や組織化はできないか。

**答弁**↓付加価値の高い売れるコメづくりは重要で、組織づくりは必要である。

### 防災FMラジオの配布、取り組みは

公明党津山市議員 岡安謙典



### 防災FMラジオの配布、取り組みは

120カ所へ、緊急時にラジオが自動的に起動し放送する防災FMラジオの設置を行う予定。今年度は、旧津山市内の自主防犯組織へも配布・設置を行っていく。また、高齢者や障害者を持たれた方等への配布は、災害時要援護者台帳に登録された方々を基本に来年度以降の設置を検討している。FM放送での災害情報は一般のラジオでも受信できるが、防災FMラジオを購入した場合、災害時において緊急放送を委託しているエフエムつやまにおいて、1台9000円程度で10月頃から提供できると聞いている。

### 小水力発電・市街地の雨水排水対策

津山誠心会議 田口慎一郎



整を含めた有力候補地の抽出を行う予定。数カ所程度は、事業の採算性が見込める候補地があるのではないかと思っている。高専との連携や、市民ファウンドなどを組み込んだ協働の仕組みを構築したい。

**質問**↓農業用排水路などを含む、市街地の雨水排水対策の現状と計画は。

**答弁**↓今年度から二宮地区で浸水対策の計画に着手、排水区域面積は33・7ヘクタールの現地調査と測量設計を行い、来年度から順次整備を実施する。また、浸水が多い場所を中心に現地調査、地域住民からの聞き取りを行い、早急に対応できることを検討する。

**質問**↓自然エネルギー利用としての小水力発電の可能性はどうか。

**答弁**↓現在小水力のポテンシャル調査に着手したところで、水利権との可否調

### 地域審議会の今後のあり方・公用車の有効利用は

★市民と歩む会 村田隆男



響があるのか。

**答弁**↓合併旧町村には新市建設計画の進行の確認や地域の意見を聞く審議会に代わる協議の場が必要であると考え、地方税全体では7億7400万円の減収見込み、削減意識で取り組む。

**質問**↓公用車の使用状況は。公用車のロゴマークの中に「津山市」の表示は。また「不法投棄監視車」「未成年者飲酒喫煙防止」のマグネットシートは。

**答弁**↓自動車は25・6台保有している。公用車に「津山市」のロゴ表示のシートを貼ることで啓発活動の一環となり、財政部、教育委員会、各支所と調整し、前向きに実施を検討する。

**質問**↓以前より提案していた緊急時の情報伝達手段としての防災FMラジオの配布、取り組み状況は。

**答弁**↓現在、旧津山市内の避難施設など

### 特別支援学級・中高一貫校

野村昌平



**質問** ↓ 小中学校の障害種別児童数は増加傾向と聞くが、近年の状況とその対策は。

**答弁** ↓ 特別支援学級の在籍者数は小学校

では平成20年の148名が平成25年に237名、中学校は58名が67名に増加し、特に小学校自閉情緒学級は81名が148名と激増している。対応が喫緊の課題となっており、北小学校に新設した通級指導教室内に「特別支援教育推進センター」を拠点として設置し、子供達や学校・保護者への支援とともにニーズに応じた指導の充実に努める。

**質問** ↓ 中高一貫教育校の進捗状況は。

**答弁** ↓ 津山高校内に平成27年2学級80名程度で開設予定、現在高校内に検討組織を置き研究中と聞く。津山高校の募集定員は併設中学生徒数だけ減る。

### 市町村合併の功罪

津山新星会議 竹内邦彦



**質問** ↓ 市町村合併は旧5市町村にとって良かったのか。市長、副市長の率直な感想は。合併特例債事業の今後の見通しは。住民サービスのごみ収集事業の

統一に向けての対応は。

**答弁** ↓ 合併によって職員の専門性の向上や執務能力の高度化が図られ、広域的な視点による自治体としての基盤整備の推進など一定の効果が生まれていると考えている。今後も合併時に目指したまちづくり実施に取り組む。津山駅周辺の整備や(仮称)勝北マルシェ、一宮保育所移転新築など特例債の活用を想定し、事業化を予定している。ごみ処理の取り扱いについては、津山市の制度を基本として、新クリーンセンターの供用開始に合わせてごみの分別区分指定ごみ袋、処理手数料の統一を行う。

### 津山市の公共施設の今後

★津山誠心会議 安東伸昭



**質問** ↓ 来年4月からの消費税増税(5%が8%)に伴う対応について。

**答弁** ↓ 国の動向を注視し、国の方針が決定次第、必要な対応を適切に行う。現在、各担当部署で増税に伴う必要な条

例改定について検討中。

**質問** ↓ 行政財産の目的外使用について。

**答弁** ↓ 庁舎等の空きスペースの賃貸、自動販売機等の設置で、使用許可は197件、内使用料全額徴収は122件である。

**質問** ↓ 指定管理者制度導入によるメリットと課題について。

**答弁** ↓ 全体(31物件)での経費削減額は1億3000万円。直営と比べて利用増進が図られている。今後の課題としては、一層厳しくなる財政状況下で、現状での維持・管理が困難になることが想定される。(施設の存続含めた検討が必要)

### 地域振興等の予算なぜ削減か

★新風会 松本義隆



**質問** ↓ 道の駅、日本原高校の跡地、久米の北部支場跡地、勝北の水中花火の補助金の大幅削減、運動会の補助金などどうなったのか。

**答弁** ↓ (仮称)勝北マルシェと名称変更し

てやっている。また、日本原高校跡地の譲渡は受けない。北部支場は時間がいる。花火、運動会の補助などは主催者に自主財源の確保、コストの削減をお願いしている。運動会の補助金は困難。

**質問** ↓ 安全・安心のため、防犯灯を市全域でやりかえる気はないか。その電気代も市が払ったらどうか。

**答弁** ↓ 厳しい財政状況で無理である。

**質問** ↓ 広戸池の入札はなぜ不調になったのか。

**答弁** ↓ 厳しい条件設定等が考えられる。

**質問** ↓ 再入札のスケジュールは。

**答弁** ↓ 入札条件を見直してできるだけ早い時期に実施したい。

### 企業誘致に不可欠な空港津山道路の早期整備は

★緑風会 津本憲一



**質問** ↓ 企業誘致に不可欠なインフラ整備である空港津山道路の早期整備が必要と考えるが、現況はどのようにな

いるのか。

**答弁** ↓ 早期に空港津山道路の全線整備が図られるよう、本市と沿線の商工会議所や市町の官民が一体となって国に対して積極的な要望活動を行っており、今秋も行う。

**質問** ↓ 津山市議会議員の中に津山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例を破り、罰金50万円の刑事罰を受けた者がいる噂がある現状、市長、津山市議会に議員倫理規定の必要性をどのように考えるのか。

**答弁** ↓ 議会の主体的な判断に委ねたいと思う。

### まちづくりについて

津山新星会議 近藤吉一郎



**質問** ↓ 駅前再整備と環境省委託事業との関連は。ソーラー商店街の内容は。まちなかシネマ実証実験の進捗状況は。  
**答弁** ↓ 駅前整備は、省エネや再生可能工

ネルギー導入を設計段階から積極的に検討することで二酸化炭素排出量抑制に取り組む。ソーラー商店街の現時点での構想では、アルネ・津山の屋上部と周辺商店街のアーケードにパネルを敷設。仕組みは計画策定の中で検討するが、市民ファンドによる資金を財源として売電による収益を例えば、地域振興券などで還元することも考えられる。まちなかシネマ実証実験の状況は、8月10日にスタートして4本の映画を28回上映し、1300人以上が来場した。シネマパスポートは約500部発行。さらなる集客を図っていく。

### 太陽光発電用に施設屋根リリース

★新風会 森岡和雄



**質問** ↓ 市の遊休地や公共施設の屋根を太陽光発電用にリリースして増収を図るべきでは。財政がひっ迫しているのに市はなぜ積極的に取り組まないのか。

**答弁** ↓ 市としては、発電事業はあくまで民間の経済活動の中で行われるべきものと判断している。取り組みとしては指針やガイドラインに基づき、市有施設の改修時などで太陽光パネルの設置を積極的に検討する。屋根貸しに関しては、市民との協働による仕組みづくりを進めており、事業実施箇所決定状況に応じて必要な手続きを急ぎたい。仕組みづくりの構想には、再生可能エネルギーの導入による低炭素都市の形成などを目的とした市民ファンドを活用するものであり、市民の環境に対する意識を高め、津山の振興や活性化に結び付けたい。

### 土地開発公社の解散への道筋に疑問あり

★日本共産党津山市議団 末永弘之



**質問** ↓ 113億円の「負債整理」を行い、土地開発公社の解散を行うことは当然の措置と思うが、その整理を税金という名によって、全額市民が負担する

というのは間違っている。過去の為政者へ責任を求めるべきではないか。

**答弁** ↓ いわゆる首長の裁量権に属している課題であり、責任を求めるだけの法的な根拠が見いだせない。

**質問** ↓ 求めないと決めているから、そのようになるのであって、『求めなくてはいけない』という立場をしっかりと取れば、責任を求められる根拠を見いだせるはずだ。

**答弁** ↓ 仮に求めたとしても訴訟などに持ち込まれ、津山市の側が「負ける」ということが明らかであり、ご理解をいただきたい。

## 総務文教委員会

市の総合企画部、総務部、財政部、地域振興部、出納室、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会及び監査委員の所管に属する事項等に対応する委員会です。

◎森岡和雄 ○近藤吉一郎  
川端恵美子 末永弘之 田口慎一郎  
竹内靖人 森西順次  
(◎委員長 ○副委員長 以下同様)

総務文教委員会に付託された議案14件、請願3件について審査をした。

議案第26号「平成25年度津山市一般会計補正予算(第2次)」では、土地開発公社清算事業特別会計繰出金の中で、当時の管理者責任の追及について質問があり、明確な<sup>かし</sup>瑕疵の根拠がなく追及は難しいとの答弁があった。種々質疑応答があり、採決の結果、賛成多数で可決とした。

議案第28号「平成25年度津山市土地開発公社清算事業特別会計補



正予算(第1次)」と議案第43号「権利の放棄について」は、債権放棄に反対の意見が出されたが、採決の結果、賛成多数で可決とした。

議案第29号「津山市第三セクター1等改革推進償還基金条例」、議案第30号「津山市職員退職手当支給条例及び津山市職員退職手当特別措置に関する条例の一部を改正する条例」、議案第31号「津山市税外収入金を期限内に完納しない場合における徴収条例の一部を改正する条例」、議案第32号「津

山市税賦課徴収条例及び津山市都市計画税条例の一部を改正する条例」、議案第37号「久米山ふれあいロッジ条例を廃止する条例」、議案第38号「消防団員用活動服の購入について」と議案第39号「消防ポンプ自動車の購入について」、議案第41号「新生津山キラめきプラン(津山新市建設計画)の変更について」の8議案は、全員一致で可決とした。

議案第45号「工事請負契約について」から議案第47号「工事請負契約について」までの3議案は、反対意見が出されたが、採決の結果、賛成多数で可決とした。

請願第1号「消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する請願」、請願第2号「少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるための、2014年度政

意見が分かれ、調査研究を続けるため、継続審査とした。

執行部から第9次行財政改革前期実施結果・後期実施計画、第三セクター等改革推進債の入札結果、自主防災組織活動費助成、防災FMラジオの設置、平成24年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書、「岡山県学力・学習状況調査、平成25年度全国学力・学習状況調査結果の概要」、津山市特別支援教育推進センターについての報告があった。



◎ 後援会が、花環、香典、祝儀などを出すと処罰されます。

## 厚生委員会

市の環境福祉部、こども保健部及びクリーンセンター建設事務所の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎秋久憲司      ○原 行則  
安東伸昭      河本英敏      西野修平  
松本義隆      吉田耕造

厚生委員会に付託された議案4件について、9月17日に委員会を開催し、慎重に審査をした。

議案第26号「平成25年度津山市一般会計補正予算(第2次)」のうち、厚生委員会の所管に属する事項については、全員一致で原案のとおり可決とした。

主な質疑として、委員からは、放課後児童健全育成事業委託料の補正内容について質問があり、当



局から、増額補正の理由については、受け入れ児童数の増加や障害児の受入人数の増加により、指導員を加配する児童クラブが増えたことなどであるとの答弁があった。そのほかには、次世代自動車充電インフラ整備促進事業について、津山市内の設置状況はどうなっているかとの質問があり、当局から

は、市役所の駐車場内と道の駅「久米の里」に計画しているほか、既に設置されている箇所としては、美作県民局と市内のスーパー1店舗にそれぞれ1台、自動車販売店にも設置されているとの答弁があった。

次に、議案第27号「平成25年度津山市介護保険特別会計補正予算(第1次)」については、平成24年度の給付実績や地域支援事業の実績により、国・県・社会保険診療報酬支払基金への返還金を増額補正するものであり、全員一致で原案のとおり可決とした。委員からは、要介護認定調査の公平性の確保について意見が出され、当局からは、認定調査員に対する研修などを実施し、要介護認定の適正化と公平性の維持・向上に努めているところであるとの答弁があっ

た。

次に、議案第33号及び議案第34号の2件の議案は、介護保険法の規定による地域密着型サービス事業における人員、設備および運営に関する基準条例の一部を改正するものであり、いずれも全員一致で原案のとおり可決とした。



◎ 議員はお祭りへの寄付や差し入れも禁止されています。



## 産業委員会

市の産業経済部及び農業委員会の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎中島完一 ○小椋 多  
岡安謙典 木下健二 野村昌平  
村田隆男 山田 誠

産業委員会に付託された議案2件について審査をした。

議案第26号「平成25年度津山市一般会計補正予算（第2次）」のうち産業委員会に関係する項目の審査について、当局の説明を受けた結果、適切、妥当な予算内容と認め、全員一致で原案のとおり可決とした。この議案の審査の中で、観光振興に関する旅費の増額補正に関連し意見が出された。今年度は、美作国建国1300年という記念すべき年を迎えている中、津山のPRを広く行うための旅費については、全体額から考慮するとまだまだもの足りないものと思われる。交流人口の増加を目指し、津山を広く知っていただけこの絶好の機会を逃さず、PR活動が積極的に推進できる予算としていくよう要望した。

議案第40号「財産の取得につい

て」の審査では、取得を予定している土地の単価設定について質疑があり、当局から、単価設定に当たり不動産鑑定を実施し、その結果を用地委員会へ諮り決定しており、適切な単価が設定されたと考えているとの答弁があった。その他の説明を聞いた結果、適切、妥当な措置と認め、全員一致で原案のとおり可決とした。

また今回の委員会では、当局から「農地、農業用施設災害」「つやま納涼ごんごまつり開催に伴う河岸緑地公園の芝生補修」についての報告があり、それぞれの内容を聴取した。また森林課からは、地域材利用新築住宅補助金の申し込みが予算額に達したため、今年度の受け付けを終了した旨報告があった。住宅新築については、消費税増税前の駆け込み需要が見込まれている。このたびの報告を受



け、経済効果が多方面に及ぶ当該事業の有益性に照らして、新たな補正予算を編成するなど、引き続き事業を継続できるよう委員会として要望した。

また、委員からは「久米産業団地への企業誘致について」、「農地への太陽光発電施設の設置について」の質問が出され、それぞれに対し、当局からの説明を受けた。

◎ 政治家に対し、寄付を出すように勧誘や要求することは禁じられています。

## 建設水道委員会

市の都市建設部及び水道局の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎久永良一  
岡田康弘  
津本憲一

◎黒見節子  
竹内邦彦  
津本辰己

建設水道委員会に付託された議案5件について、慎重に審査をし、全議案を全員一致で可決とした。

議案第26号「平成25年度津山市一般会計補正予算（第2次）」のうち建設水道委員会の所管に属する事項については、主に、冬季に必要となる除雪作業車両の消耗部品代と点検などの修繕費、城西浪漫館の自動火災報知機設置工事費、重伝建標柱の作成設置費、総社川崎線街路事業にかかる測量費・用地購入費・移転補償費、合併浄化



槽設置整備費補助金に関する補正予算であり、各事業について、詳細な説明を求めた。

議案第35号「津山市伝統的建造物群保存地区における津山市税賦課徴収条例及び津山市都市計画税条例の特例を定める条例」、36号「津山市城東伝統的建造物群保存地区における建築基準法の制限の緩和に関する条例」については、伝統的建造物群保存地区に関して

必要な措置を定めるための条例であり、条例の制定によって伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等に対する固定資産税、都市計画税の減額、建築基準法による制限の緩和等を行い、町並保存を推進するものであるが、地域の良好な景観整備を推進するためには、伝統的建造物以外の建造物に対しても十分な補助制度が必要であり、無電柱化等の景観を向上させるための整備事業をさらに推進していくことも必要と考えられる。また、地域住民への啓発も適時行っていくことなどが必要と考えられるため、これらの課題を整理し、町並保存をさらに推進するよう要望した。

議案第42号「市道路線の認定について」は、道路工事等に伴う市道路線の認定であり、特に質疑はなかったが、議案第44号「工事請負契約について」は、南部污水幹線建設工事の工事請負契約に関する議案であり、工事に伴う駅前整

備などの周辺事業への影響を考慮し、全ての事業が、効率的、効果的に実施できるよう事業の推進を図ることを要望した。

また、都市建設部からは、公共土木施設災害、津山広域都市計画の変更、津山河岸緑地についての報告があり、水道局からは、第2次津山市水道局浄水場運転管理等業務委託・収納等業務委託、小田中浄水場更新事業についての報告があった。



## 委員長報告に対する討論

9月25日（水）の本会議で、総務文教、厚生、産業、建設水道委員会の各常任委員長から、9月定例会に提案された各付託議案の審査結果の報告が行われ、委員長報告に対する討論が行われました。これは、各議員及び会派がどのような内容の施策にどのような理由で賛成し、反対するのかを明らかにするものです。9月定例会では2人が討論を行いました。その要旨を紹介します。

### 「権利放棄はおかしい」

日本共産党津山市議員 末永弘之



土地開発公社の解散に関係して、解散はやむを得ないとしても、113億円すべてを30年かけて市民が負担することは間違っている。原因者、過去の為政者に責任を求めるべき。そして「権利の放棄」については、公社解散に必要な手続きとはいえ、法の整備も含めて根本的な見直しを求める。当局は「市民が全額負担するのが当たり前」という論理であるが、「権利を放棄する」ということが無茶である。「プラス面もマイナス面も、公社が持つすべての権利を津山市が受け取る」とすべき。土地や土地の賃料などは当然引き継ぐわけであるから、法の整備を今後のために国県に求めるべきだと申しておく。

### 「賛成するが不安。時々の状況を市民に公表して！」

市民と歩む会 黒見節子



議案に賛成の立場だが不安。第43号は土地開発公社の解散で約62億円の求償権を放棄するもの。国の第三セクター等改革推進債を利用し解散するか、年約2億4000万円の利子を払い続けるか。解散するしかないだろうと判断した。行財政運営等で1年でも早く償還し、将来的に市民が納得できるように進めるべきだ。第45号、46号、47号は東部学校給食センター建設で、今でも大規模給食には反対だが、おいしい給食にとの願いを込めての賛成である。複数献立、食材、給食校務員や栄養教職員の人数、未納問題、給食残渣の処理など不安はある。その時々の状況を市民に明らかにしながら進めてほしい。

## 平成24年度各会計決算議案の質疑について

平成24年度の各会計決算議案20件が上程され、9月27日の本会議で2人の質疑が行われた後、それぞれ各常任委員会に審査付託されました。

### 「アルネ再建第三次案の真水論は」

まみず

日本共産党津山市議員 末永弘之

質問↓平成24年度決算の中に、いわゆるアルネ関係決算が約3億7千万円あるが、第三次案の予定であった県支援金20億円が入らない結果となっており、真水（最終的な市費の必要額）の数字が変化した、どのような影響になっているのか。

答弁↓県の支援金20億円が受けられなくなったのは事実だが、別途5億円の支援金を受け、第三次案にあったバスステーション整備事業を取りやめるなどの措置で対応を行ってきた。真水論で言う6億7000万円が10億6400万円となっており、その差額については平成18年度において論議されてきた。質問↓当時、賛否同数かと言われた厳しい時期、真水が7億円弱ならしかたないと議会は選択をしたが、10億円を超える真水論であったなら、どうなっていたか。市民と議会をペテンにかけるやり方は許せない。

### 「競争、選別、管理強化は良くない・医療費減少、健診受診率アップした」

日本共産党津山市議員 久永良一

質問↓24年度、全国学力テストの実施、中高一貫校設置、教員評価制度、習熟度別指導、学校選択制の凍結維持は、世界では時代遅れの競争、選別の教育だ。多様な能力、個性をもった子供たちが、共存・共生、交流して学び合うのが学校教育本来の姿だ。国や県教委に従うばかりでは、津山の教育は良くならない。中高一貫校にはあいまいな態度をとった。

答弁↓津山の教育向上につながるよう、働きかける。  
質問↓24年度、国保会計の医療費が減少、健康づくり推進地区の健診受診率がアップした要因と教訓は。

答弁↓糖尿病予備群などへの指導、健診未受診者への訪問指導、健康教育が要因と考えられる。

### 第14回「森林を考ふる岡山県民のつどい」が10月26日にグリーンヒルズで開催されました

津山鶴丸太鼓によるオープニングに始まり、林野庁林政部木材利用課長 阿部勲氏による「我が国における木材利用促進施策について」と題した基調講演が行われました。その後、岡山県森林組合連合会代表理事会長 井手紘一郎氏、津山地区木材組合理事長 難波芳英氏、講師の阿部勲氏、岡山県森林・



林業活性化促進議員連盟 会長 戸室敦雄氏、岡山県英田郡西粟倉村長 青木秀樹氏による「森林整備と木材の活用促進について」をテーマにパネルディスカッションが行われました。また、苗木の無料配布、親子ふれあいコーナー、特産品の販売もあり、たくさんの人出でにぎわいました。

### 9月定例会に提出された請願の審議結果

- 「地方財政の充実・強化を求める意見書提出について」の請願 → 継続審査
- 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択の要請について → 継続審査
- 消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する請願 → 継続審査

### 8月臨時会で同意した人事案件

8月臨時会では、1件の人事案件が提案され、次のとおり同意することを決定しました。監督委員の選任について

津山市田熊1742番地 久常勝實(68歳) (※年齢は議決日(8月23日)時点です。)

### 9月定例会で同意した人事案件

9月定例会では、1件の人事案件が提案され、次のとおり推薦することを決定しました。人権擁護委員候補者の推薦について

津山市南方中1814番地5 橋本真弓(56歳) (※年齢は議決日(9月25日)時点です。)

### 表紙写真について

久米保育所に通園している園児(児童)は165人です。今回は4歳、5歳児(75人)を撮影させていただきました。保育目標は「基本的生活習慣を身につけ、自主的に行動できる子ども」「健康でのびのびとした明るい子ども」などとされています。

院庄幼稚園に通園している園児(児童)は13人です。教育目標は、「自分で考えて行動し、思いやりあふれる幼児の育成」で、「健康で安全な生活をするための基本的生活習慣や規範意識を育てる」などを指導の重点にされています。

二宮幼稚園に通園している園児(児童)は17人です。教育目標は「自らの力で未来を創造する子どもを育てる」で「心豊かな子ども」「仲良く遊べる子ども」「やりとげる子ども」を指導の重点にされています。

### 編集後記



昨年の9月から議案質疑並びに一般質問で導入された一問一答方式。9月議会では、23名の議員の内、半分の11名が一問一答方式を選択しました。質問と答弁が連続するのでわかりやすいと言われる一方で、「踏み込んだ質問をする場面が少ない」「横道にそれる」などの課題も見えてきました。論点を絞り込み、議員個々の「質問力」の強化が求められています。

9月28日(議会最終日翌日)に、第2回の議会報告会を各常任委員会の班構成(4会場)で開催しました。報告会で出されたご意見、アンケートの集計結果をもとに、議会の「見える化」をさらに進めてまいります。ご出席いただいた市民の皆様、ありがとうございました。(伸)

毎年、「今年暑いですね。」があいさつことばになっています。今年はこのほか暑かった！お米の出来も今一つ。命を支える農業への施策が必要です。(節)

外国映画でいつか見た竜巻。国内でもと、このところの風水害はケタ外れ。想定外といながらも他所・人事ではない。対応には行政も大変だ。被災の方々にお見舞い申し上げます。(靖)

### 広報調査特別委員会メンバー

- ◎ 末永弘之 ○ 安東伸昭
- 秋久憲司、岡田康弘、岡安謙典
- 黒見節子、竹内靖人、吉田耕造